

ミエンとムンの儀礼神画 から見た信仰の世界

譚 静 氏

広西民族大学民族学与社会学学院 専任講師

神奈川大学日本常民文化研究所 客員研究員



2022年7月26日(火)

14:00~17:00

開催: Zoomミーティング

【開場: 13:45】



申込方法: ご参加希望の方は、QRコードよりお申込みください。
IDとパスコードが自動返信メールにて送信されます。

ミエンとムンの儀礼神画から見た信仰の世界

神画の形、種類、内容などの比較することによって、ミエンとムンの儀礼神画には多くの共通性が持っていることが分かった。特に神画の内容に関して、ミエンとムンの神画セットに両方とも「三清」「三元」「功曹」「元帥」「張天師」「李天師」「十殿」「総壇」「大道橋」などの神画がある。これらの共通点から見ると、ミエンとムン信仰している神霊システムが高い一貫性を持っていることがわかる。また、画像の内容からミエンとムンの儀礼神画の違いを発見することもできる。例えば、ミエンの神画は三清を信仰の最高神としているが、ムンは三元を信仰の最高神としている。このような違いによって、実際に両者の信仰システムに異なっていることを反映している。